

At a Glance

当社グループは、3PL事業と重量機工事業、フォワーディング事業からなるスマートロジスティクスで、国内外に広がるネットワークと豊富な実績のもと、お客様の多様な物流ニーズにワンストップでお応えし、グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダとなることをめざしています。

Resources 一価値協創基盤一 (2021年3月31日現在)

会社数^{*1}・事業拠点^{*2}

Locations

98社 752拠点

<国内:26社・330拠点 / 海外:72社・422拠点>



グループ人員^{*3}

Human Resources

43,729名

<国内:28,671名 / 海外:15,058名>



物流センター面積^{*2}

Warehouses

753万㎡

<国内:527万㎡ / 海外:226万㎡>



車両保有台数 (リース車含む)

Vehicles

合計 16,924台

トラック^{*4}: 3,671台 フォークリフト: 5,981台
 トレーラ: 5,679台 その他^{*5}: 1,593台



^{*1} 会社数は、持分法適用関連会社を含む。 ^{*2} 事業拠点・物流センター面積は、エアアイティグループ・HTB-BCDトラベルグループを除く。
^{*3} 人員数は、持分法適用関連会社人員を除く。 ^{*4} トラック: トラクタ、バンを含む。 ^{*5} その他: バス乗用車等を含む。

2020年度 セグメント別概況

国内物流 (2020年度)



● **売上収益** **前年度比 -3%**

国内物流の売上収益は、新規立ち上げ案件の寄与やパレネット(株)と(株)日立物流東日本流通サービスの連結化による増収影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大による物量減少は依然として継続しており、前期に比べ3%減少し、4,211億90百万円となりました。

● **セグメント利益** **前年度比 -3%**

セグメント利益は、生産性改善・総コスト抑制効果等はあったものの、減収影響により、前期に比べ3%減少し、251億76百万円となりました。

※2019年度より、IFRS第16号「リース」を適用しています。

3PLの国内マーケットリーダー^{*}として国内外に広がるネットワークや先駆者ならではの豊富な実績とノウハウを駆使し、安全、品質、生産性に優れた総合物流サービスを社会に提供しています。

※ 出典: 月刊ロジスティクス・ビジネス 2020年9月号「3PL白書 2020」

Services 一事業&ソリューション一

3PL事業 セグメント: 国内物流・国際物流

Value

サプライチェーンにおける最適な物流サービスを提供。また、自動車部品物流では、自動車業界の物流周辺ニーズにも対応



重量機工事業 セグメント: 国内物流・国際物流

Value

重量品や精密機器の輸送・搬入・据付等のサービスを提供



フォワーディング事業 セグメント: 国際物流

Value

航空機、船舶、鉄道等、多様な輸送手段の中から、最適な輸送プランを提案



その他物流周辺事業 ・ 情報システム開発事業 ・ 自動車販売/整備事業

国際物流 (2020年度)



● **売上収益** **前年度比 -2%**

国際物流の売上収益は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は各地域において回復傾向にあるものの、依然として前期水準に至らず、また為替影響等もあり、前期に比べ2%減少し、2,162億58百万円となりました。

● **セグメント利益** **前年度比 +59%**

セグメント利益は、減収影響はあったものの、国内発着および中国フォワーディング事業の収益性向上や、各地域における生産性改善・総コスト抑制効果等の影響により、前期に比べ59%増加し、103億40百万円となりました。

※2019年度より、IFRS第16号「リース」を適用しています。